

若き農業者の挑戦!

愛情たっぷりの水耕野菜



オフの日も家で
静かに過ごす自身を
植物に例えるなら“盆栽”

野菜は水と適温、
そして褒めて
育てる!

このまち
津市で輝く

vol. 111

リエゾンファーム21 代表 山崎 美沙季 さん

1994年、孤野町生まれ。地元高校を卒業後、愛知県の自動車メーカーに勤務。野菜ソムリエの資格取得をきっかけに農業に興味を持ち、2021年より津市で農業に従事。2024年6月、分部に「リエゾンファーム21」を設立。

活気あふれる産直市場の朝。市内各地から届いた朝採れ野菜が所狭しと並ぶ中、少し珍しい地中海野菜が目を引く。ホワイトセロリやカーボロネロ、クレソン——長谷山の麓にある水耕栽培ハウスで、山崎さんが大切に育てた野菜たちだ。

温暖な分部の地で水耕栽培に従事していた母を手伝うため、山崎さんは28歳で津市に移り住んだ。未経験から飛び込んだ農業の世界で、芽が出る喜びに学びを重ね、2024年に独立。社名に掲げるリエゾンとは、フランス語で“架け橋”を意味する。「消費者や事業者、農家の皆さんとつながり、一緒に大切な食と農業を守っていきたい」という願いを込めました」

ハウスでは毎日、野菜たちに“暑いのにがんばってるね”大きくなったね”と声をかける。その愛情に応えるように、野菜は健やかに育つという。「大切に育てた子たちを、一番きれいな状態で手に取ってもらいたい」と、ディスプレイにも妥協はない。野菜本来の色や形が伝わるよう、葉の向きを整えて丁寧な袋へ詰めていく。その美しさに加え、水耕栽培ならではの柔らかさや日持ちの良さが、食卓で愛される所以だ。

「農業は命と関わる楽しい仕事。この魅力を広めて、仲間を増やしていきたいです」と、目を輝かせる新進気鋭の農家は、まさに津の農を未来へつなぐ架け橋だ。

津市民くらしの安心インフォメーション



医療



受診可能な医療機関を知りたいとき

三重県救急医療情報センター

☎059-229-1199

24時間

年中無休



医療ネットみえ

応急措置方法の案内や健康相談

津市救急・健康相談ダイヤル24

☎0120-840-299

24時間

年中無休

通話無料

夜間・休日の発熱や体調不良のとき

津市の応急診療所



市ホームページ



災害

避難所



ハザードマップ

